

正しい知識で早めの避難を

いざ避難という時には、誰も慌てるものです。
避難する時は、落ち着いて行動するために何をしたらいいのか確認しておきましょう。

- ・まずは安全な場所へ、避難指示に従い、近くの人に声をかけながら集団で避難しましょう。
- ・危険な場所には近づかないようにしましょう
- ・高齢者や体の不自由な方は早めに避難しましょう
- ・避難場所や経路を日頃から確認しておきましょう



浸水しているとき

ひざくらいまで浸水したときは、外を歩くのはかえって危険。建物の上の階や近所の高い場所へ移動しましょう。



特に川から近い場合は、市町村から配布される洪水ハザードマップなどで、身近な所がどこまで浸水するか確認しておきましょう。

山間部の場合

小石が落ちてきたり、がけにひびが入ったりしたら、がけ崩れの危険があります。早めに安全な場所へ避難しましょう。



夜間など外の様子がわからない時は、無理に避難せず、がけから少しでも離れた部屋へ移動しましょう。

こんなときは要注意(前兆現象)

土石流

- ・山鳴りがする
- ・川の流れが急ににごったり流木がまざり始める

地すべり

- ・斜面にひび割れができる
- ・池や井戸の水がにごる

地下街などの場合



地上が冠水すると、一気に水が地下へ流れ込んできます。停電や水圧により、ドアが開かなくなることがあります。早めに避難しましょう。

道路では



道路が冠水しているときは自動車のエンジンが止まったり、動かなくなったり、ドアが開かなくなったりします。早めに徒歩で避難しましょう。

道路情報板の通行規制などの情報にも注意しましょう。

[災害の歴史や防災について学べる施設]

京都市市民防災センター 強風体験、土砂災害の恐怖など
京都市南区西九条菅田町7番地 TEL:(075)662-1849

福知山市治水記念館 由良川の水害の歴史など
福知山市字下柳39 TEL:(0773)22-4200

大野ダムビジターセンター ダムの仕組み(治水効果、水力発電)など
南丹市美山町榎原 TEL:(0771)75-0143(大野ダム管理事務所)

淀川資料館 川やくらし・環境のこと、宇治川・桂川・木津川・淀川の歴史など
大阪府枚方市新町2-2-13 電話072(846)7131

水のめぐみ館アクア琵琶 雨たいけん室、水門、ポンプ操作など
滋賀県大津市黒津四丁目2番2号 TEL:(077)546-7348

編集・発行

京都府砂防・治水・防災協会

問い合わせ先

事務局 京都府建設交通部河川課、砂防課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入

電話:(075)414-5282・5311

FAX:(075)432-6312